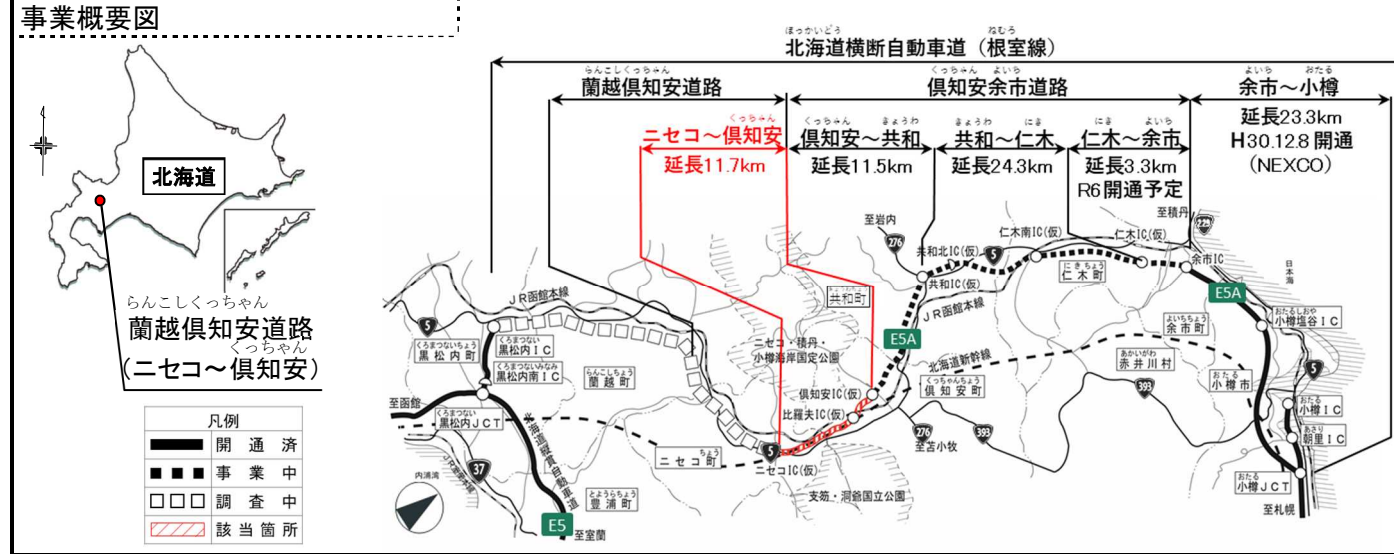


新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課  
 担当課長名: 高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道5号(北海道横断自動車道) 蘭越倶知安道路(ニセコ～倶知安)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自: 北海道虻田郡ニセコ町元町 至: 北海道虻田郡倶知安町字旭	延長	11.7km		
事業概要	蘭越倶知安道路(ニセコ～倶知安)は、北海道横断自動車道根室線の一部を構成する道路で、虻田郡ニセコ町元町から虻田郡倶知安町字旭に至る延長約11.7kmの自動車専用道路である。(北海道横断自動車道根室線は、黒松内町を起点として、札幌市、帯広市、釧路市を経由し根室市へ至る高規格道路である。)				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、倶知安市街地等における交通事故低減による安全性の向上、拠点空港新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路として寄与するものである。				
全体事業費	約640億円	計画交通量	約9,100台/日		



**関係する地方公共団体等の意見**  
 【北海道知事】  
 一般国道5号(北海道横断自動車道)蘭越倶知安道路(ニセコ～倶知安)事業の予算化に同意します。  
 本道における高規格道路ネットワークは、圏域間の交流拡大や広域周遊観光及び社会経済活動の活性化への貢献のほか、円滑な救急搬送を支え、大規模災害における代替路の確保など、道民生活や経済の面で重要な役割を果たすものです。  
 北海道横断自動車道(ニセコ～倶知安)の整備は、ニセコ観光圏へのアクセスや医療拠点である倶知安町への救急搬送において速達性や安定性の向上、また大規模災害時や異常気象時の通行機能の確保など多くの効果を発揮するものと考えています。  
 令和6年度の新規事業として予算化していただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
 ・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
 ・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。  
 ・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了 (R5.12.19)

事業評価結果

費用便益分析 (参考)	B/C	1.4(0.8)	EIRR	5.9% (2.9%)	総費用	2,474億円	総便益	3,576億円	基準年	令和5年
		2.2(1.2) [2%]			事業費	2,306億円	走行時間短縮便益	3,070億円		
		2.8(1.6) [1%]			維持管理費	159億円	走行経費減少便益	421億円		
					更新費	8.9億円	交通事故減少便益	86億円		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	信号交差点の回避により、速達性が向上する。 【信号交差点の通過】現況 16箇所 → 整備後 9箇所 [7箇所回避]						
		事故対策	◎	別線整備により、事故危険区間を回避する。 【事故危険区間の回避】現況 3箇所 → 整備後 0箇所 [全て回避]						
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。						
	社会全体への影響	住民生活	◎	高次医療施設を有する倶知安町への速達性及び安定性向上により、安心できる暮らしを支援する。 【ニセコ町から倶知安厚生病院への冬期搬送時間】 現況 23分 → 整備後 19分 [4分短縮]						
		地域経済	◎	道外観光客や外国人観光客の拠点である新千歳空港や札幌市から国際的観光リゾート「ニセコ」への移動時間を短縮する。 【新千歳空港～ニセコ観光圏への冬期所要時間】 現況 168分 → 整備後 136分 [32分短縮] 整備後: 事業中含む倶知安余市道路+蘭越倶知安道路(ニセコ～倶知安)利用ルート						
		災害	◎	洪水浸水想定区域の回避により、有珠山噴火等の災害時の代替路として信頼性の高い道路機能を確保する。 【洪水浸水想定区域の回避】 現況 3.5km → 整備後 0km [全て回避]						
		環境	—	注目すべき影響はない。						
	地域社会	◎	速度向上や事故率低減など、交通環境の改善・輸送効率向上により地域の産業振興に貢献する。							
事業実施環境	○	北海道横断自動車道黒松内・小樽建設促進期成会、後志総合開発期成会などから、蘭越～倶知安間の早期事業化の要望を受けている。								

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.4と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により、倶知安市街地等における交通事故低減による安全性の向上、拠点空港新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路の確保などの効果が期待されるなど、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの上段は黒松内～余市を対象とした場合、下段( ) 下記の値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値)

# 新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

## 事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>倶知安市街地等における交通事故低減による安全性の向上、拠点空港新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路として寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>道南～道中間の貨物輸送を担う幹線道路や鉄道は太平洋側に位置しているが、約30年周期で噴火を繰り返す有珠山や樽前山が存在。</li> <li>国道5号は、災害発生時の代替路となるが、洪水浸水想定区域が存在するため、災害発生時でも通行可能な道路機能の確保が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※北海道総合開発計画(H28.3閣議決定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地震等による被害や社会経済的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格幹線道路の整備。</li> </ul> </li> <li>※第6次倶知安町総合計画(R2)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地震、台風、火山噴火などの自然災害に対し、万が一に備えて、日頃から災害への備え予防、応急、復旧などの防災対策を全力で実施。</li> </ul> </li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニセコ町内で診療できない循環器科・脳神経外科・産婦人科の診療や救急搬送は、第2次救急医療施設がある倶知安町に依存。</li> <li>ニセコ町から倶知安町までの救急搬送ルートである国道5号には、信号交差点での速度低下や縦断勾配隘路区間などがあり、速達性・安定性の高い救急搬送ルートの確保が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※北海道総合開発計画(H28.3閣議決定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>医療における基礎圏域中心都市と周辺市街地とのアクセス向上を図り、基礎圏域内外の広域的な交流を支えるため、都市間時間距離を縮める高規格幹線道路網等の広域交通ネットワークの整備を推進。</li> </ul> </li> <li>※第5次ニセコ町総合計画(H24)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>倶知安厚生病院との連携や夜間救急医療体制の安定等、いざという時のための医療体制構築。</li> </ul> </li> </ul>
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的観光リゾート「ニセコ」では、コロナ禍においても宿泊施設などのリゾート開発は依然として増加しているが、新千歳空港や札幌市からニセコ観光圏への移動に時間がかかり、速達性の確保が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※北海道総合開発計画(H28.3閣議決定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地への交通アクセスの改善を図るため、高速交通体系の整備を推進する。</li> </ul> </li> <li>※第6次倶知安町総合計画(R2)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>インターチェンジとのアクセスとなる道路の整備など、広域ネットワーク拠点としての機能を強化する取り組みを実施。</li> </ul> </li> </ul>
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>主要拠点間のリンクの評価はDランク→Cランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、洪水浸水想定区域の回避により信頼性の高い道路機能を確保するとともに、拠点都市と拠点空港間のアクセス向上が図られ地域産業の活性化、地域医療サービスの向上に貢献するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱 度の変化 量	改善度		評価
	倶知安町 役場	蘭越町 役場		整備前	整備後		通常時	災害時	
					1.00 [D]	0.65 [C]	▲120.3 (▲0.0)	0.15 (0.05)	0.39 (0.00)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画段階評価手続き完了(R5.12.9)</li> </ul>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、黒松内～余市を対象とした場合、下段( )下記の値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。